

防災減災対策について

(質問) 本市で起きた災害に関する歴史が網羅された副読本を作成し、これを利用した防災教育をしてはどうか。今後、自主防災隊や地域づくり協議会で、地域の防災力強化に向け、専門的知識を有する防災士の資格を取得することに対して補助をしてはどうか。災害時に活用できる、ペットの同行避難などを記

したペット防災手帳を作成してはどうか。

(答弁) 小学3・4年生の社会科の副読本「のびゆく鈴鹿市」で、過去に本市で起こった台風や河川の氾濫、土砂崩れなどの自然災害を学ぶことができる内容を記載する。自治会単位で結成する自主防災組織などで防災士を育成できれば地域防災力の強化になると考えており、「鈴鹿市自主防災組織活性化事業」補助金制度の対象になるよう検討する。ペット防災手帳は、三重県や獣医師会などの関係機関と作成に向けて協議する。

ライフステージに応じた健康支援について

(質問) 年代に応じた健康課題への取り組みについて、小中学生の思春期特有の悩みには、学校での周囲の理解と気軽に個別相談できる体制が必要ではないか。壮中年期には、がん罹患しても治療と仕事を両立し、満足な日常生活を送れる総合的支援が必要ではないか。

(答弁) 小中学校では、教職員が連携して見

守るとともに、授業や健康教育出前講座、養護教諭による保健指導や保健だよりの発行により、相談しやすいよう対応している。本市では、がん罹患しても自分らしく働くことができ、住み慣れた家庭や地域で暮らす環境づくりを目指し、がんの予防と死亡率低下に向け、1次予防として「生活習慣の見直し」につながる健康教育や各種の健康診査、健康づくり事業を実施し、生活習慣病の予防や健康に関する正しい知識の普及を図っている。

その他の質問○消費者教育について

白江集合保留地活用の検討について

(質問) 白江保留地複合施設調整会議を立ち上げ、各部局が要望する施設内容などの意見を集約し、本年10月に調整会議を開催する運びであったが、進捗状況は。総合計画2023後期計画に載せて進めるべきであるが、状況は。

(答弁) 鈴鹿市公共施設等総合管理計画において進めてきたが、国は2020年度までに施設

ごとの個別施設計画の策定を求めている。そのため、本市の施設総量の抑制など公共施設の最適化の実現を図るため、政策経営部が中心となり、(仮称)公共施設整備基本計画策定に向けて、各施設担当課の施設整備方針が提出されているところである。当該土地画整理事業が終了する時期をめぐり、集合保留地の土地利用の方向性や施設整備方針の素案を示していきたいと考える。

その他の質問○人事院勧告に伴う給与引き上げについて

○大震災時対応について

白子第3排水機場建て替えについて

(質問) 白子第3排水機場は、建築後50年以上が経過しているが、施設が被災した場合の被害想定は。また、新しい施設整備の考えは。

(答弁) 当該施設は、新基準の耐震調査も未実施であり、対策手法の検討を進める必要がある。想定される浸水区域は、和田班、栗真班、新生班、名古屋地区のそれぞれ一部に発生す

ると考えられる。予想降雨を上回る場合は、他地区にも甚大な浸水被害の発生が懸念される。施設の耐震化や新設・改築整備を進め、適切な保全管理を行い、浸水対策の施設整備を効率的に取り組んでいく。



懸念される白子第3排水機場

その他の質問○新元号への準備対応について

○自治会要望1,740件のその後の対応

○防災スピーカーが聞こえない事への対応